

国際高等研究所戦略会議:ISCの活動

国際高等研究所戦略会議(IAS Strategic Committee (ISC))は法人設立から30年を経て、改めて高等研の存在意義や今後の方向性を見つめ直すため、2013年10月に理事長の諮問機関として設立しました。

ISCは精力的に検討を重ねた結果、2014年3月に第1期活動の最終報告書をまとめ、その後の活動を第2期ISCに託しました。

第2期ISCは、議長に村上陽一郎氏(東京大学名誉教授)を迎え、2015年4月1日に発足しました。立石義雄理事長から、ISCに対する新たな諮問として、『『人文社会系の学』と『社会』との乖離』、および『新たな研究ドメインとプロセスの確立』についての検討依頼がなされました。

2015年度は、本諮問内容についてそのアプローチの方向性や切り口を見定め、答申の方向性に繋がる課題観について検討しました。特に人文社会系の学あるいは知と社会との関係性から検討を始めることとし、科学技術ドリブンの発展が続いた結果として社会が変わってしまうほどのインパクトをもつものや、人文社会系の知のあり方の問い直しを行う根源となる日本固有の文化と経済との融合を体現することとは何かという課題観に基づいて、3つの視点①尊厳死・安楽死・PAD、②文化経済、③伝統文化芸術のサプライチェーンから着手し、議論を重ねているところです。



国際高等研究所戦略会議(ISC)第1期最終報告書 「自然・人類・社会、その超えるべき課題と未来」

本報告書は、高等研設立から30年が経過し、社会・世界情勢、地球環境が大きく変わった今日、もう一度設立の原点に立ち返り、基本理念の現在における再定義を行いました。

これは、今後の高等研の研究活動方針を具体的に示すだけでなく、有限資源の地球社会の未来について問いかける内容となっています。

国際高等研究所戦略会議 (IIAS Strategic Committee (ISC)) 第2期委員構成

議長

(敬称略・五十音順)



村上 陽一郎

東京大学名誉教授、国際基督教大学名誉教授

委員



猪木 武徳

青山学院大学国際政治経済学部特任教授
大阪大学名誉教授、国際日本文化研究センター名誉教授



大原 謙一郎

公益財団法人大原美術館理事長



笠谷 和比古

国際日本文化研究センター名誉教授
帝塚山大学文学部教授



黒木 登志夫

日本学術振興会学術システム研究センター相談役
東京大学名誉教授